

「徳島バッテリーバレイ構想」（案）の概要について

1. 策定の趣旨

蓄電池関連人材の育成と産業基盤を強化することで、蓄電池関連産業を新たな産業の柱として確立し、カーボンニュートラルの進捗や経済安全保障に貢献するため策定する。

2. 基本目標

「徳島への蓄電池関連産業の集積」を実現し、「雇用の創出」と「県民所得の向上」につなげる。

3. 目標年次

2030年（7か年）

4. 効果指標

KPI	2022年	2030年	伸び率
製造品出荷額等	1,603億円	3,000億円	約187%
従業員数	4,232人	5,000人	約118%

※蓄電池市場や取引状況の変動に応じて見直しを行う。

5. 推進戦略

（1）推進体制

構想策定後、「徳島バッテリーバレイ構想推進会議」を設置し、構想実現に向けた戦略の円滑な推進を管理する。

（2）方策

①生産性向上

・生産量と生産効率の向上を目指した研究開発から操業までの総合的支援

②人材育成・確保

・関西の人材育成と連携し、県立高校等での蓄電池教育の推進

③新事業展開・誘致促進

・サプライチェーン構築に向けた企業誘致、新規参入を促進

④情報発信・普及拡大

・県内蓄電池関連産業の認知度向上や蓄電池の導入促進

6. 今後のスケジュール

令和6年7月上旬から

構想策定・推進会議設置